

分野	補完的な道路の整備		事業番号	事業名	県単道路改築				
市町村名	長野市	ふりがな箇所名	(主)信濃信州新線 <small>しなのしんしゅうせん</small>		鬼無里 <small>きなし</small>	事業年度 (完了年度は見込み)	H25 年度～	H34 年度	
事業概要	区分	事業内容		事業費(千円)		財源内訳(千円)			
	全体	道路拡幅工 L=700m W=4.0(6.0)～5.5(7.0)m (うち橋梁25m)		490,000		国庫	その他	県債	一般財源
	H25年度			30,000				27,000	3,000
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価			ランク	評点	
	必要性 (30)	計画交通量	<input type="checkbox"/> 4,000台/日以上	<input type="checkbox"/> 1,500台以上～10,000台/日未満	<input checked="" type="checkbox"/> 1,500台未満		B	0	
		代替道路	<input checked="" type="checkbox"/> 唯一の道路である	<input type="checkbox"/> 代替となる道路がある				5	
		ネットワーク (道路網)	<input checked="" type="checkbox"/> バス路線である	<input type="checkbox"/> B 駅やICなどに通じる または 役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	<input type="checkbox"/> A 及びBに該当しない			5	
			<input checked="" type="checkbox"/> ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/> ボトルネック箇所でない				4	
		各事業特有の必要性(安全の確保)	<input checked="" type="checkbox"/> 観光地に通じる道路	<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路ではない				2	
			<input checked="" type="checkbox"/> 4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/> 4.0m以上5.5m未満(幅員)	<input type="checkbox"/> 5.5m以上(幅員)			6	
		<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・歩行者との分離を図る	<input type="checkbox"/> 歩道はあるが不十分であるものを再整備	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない		0			
		他事業との関連	<input type="checkbox"/> 河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施			0			
	小 計						22		
	重要性 (10)	設計上の環境・景観配慮	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされ確実性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされていないが確実性が低い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮をしていない		B	3	
		地域の法的な位置付け	<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地質防災対策強化地域、国土整備実施計画認定地域に位置付けられている	<input type="checkbox"/> 特別な位置づけはない			3	
		小 計						6	
	効率性 (20)	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が得られる)	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満		B	5	
		事業効果の早期発現(H25以降残事業年数)	<input type="checkbox"/> 事業年数 3年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 4年～5年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 事業年数 6年以上			0	
		コスト縮減	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input type="checkbox"/> 部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input type="checkbox"/> コスト縮減はしていない			7	
		小 計						12	
	緊急性 (20)	安全性の向上	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険がない		A	10	
		各事業特有の緊急性(医療・福祉)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携に関係ない道路			6	
		小 計						16	
計画 熟度 (20)	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の内発的な要望が強い	<input type="checkbox"/> 市町村からの要望	<input type="checkbox"/> 特に要望がない		A	7		
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/> 関係者以外に広く周知	<input checked="" type="checkbox"/> 関係者中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない			5		
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に直接参加	<input checked="" type="checkbox"/> 住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映していない			4		
	小 計						16		
費用対効果(B/C)		3.5		評価の合計			B	72	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は地域の生活道路となっておりとともに、地区と国道406号を結ぶ重要な路線である。現道は幅員狭小、線形不良のため乗用車同士のすれ違いが困難な状況であり、生活の支障となっている。							
	地域からの要望経緯	毎年、期成同盟会から懸案箇所の早期拡幅に関する要望書が提出されている。							
	事業説明等の経緯	事業着手前(工区毎)に事業計画説明会を開催し、関係者に周知している。							
	環境・景観への配慮項目	可能な区間については、土羽構造を基本とするとともに、構造物区間についてもコンクリート系ではなくカゴ系構造物を用いることで環境へ配慮している。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。							
	特記事項	安全かつ円滑な交通を確保するうえで、道路拡幅に対する地元要望は大きく、事業に対する関係者の協力体制も比較的成熟している。また、観光ルート(戸隠～鬼無里)でもあり、大型観光バスの往来も多い。							
地域の合意形成		<input type="checkbox"/> 全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明				
部意見	幅員狭小のため大型車等のすれ違いが困難な状況であるため、地域からの要望を踏まえ、早期に生活道路の安全確保を図るべく、H25年度から事業化したい(第二次緊急輸送路指定)。			行政改革課意見	緊急性が認められる。				